




MGU Chapel Letter

—第3号 2021年8月30日—



発行：大学宗教センター



* 2021年度聖句 *

「命のある限り

恵みと慈しみはいつもわたしを追う。」 詩編 23編6節

❖ 大学礼拝の案内

後期の礼拝は、入構制限期間終了後の9月27日（月）から始まる予定です。前期と同様に週2回、12時10分から30分までです。礼拝動画は引き続き配信します。

❖ 嶋田順好学院長/宗教総主事からのメッセージ

隣人を自分のように愛す者として ー自己免疫力を高めようー

キリスト教は「隣人愛の宗教」と言われますが、そのことを示す代表的な聖句が「隣人を自分のように愛しなさい」（マルコによる福音書12章31節）とのみ言葉です。ここで注意したいことは、この聖句が、ただ単に隣人愛だけを説いているのではなく、自分を愛することを前提にしているということです。言い換えれば自分という存在を肯定し、受容し、愛することができなければ、健やかに隣人を愛することもできないということでしょう。このことは、わがままな自己愛を肯定することではありません。自分の存在それ自身が神様に依っているからこそ、神様に感謝しつつ、心も体も健やかになるよう自己管理するということにほかなりません。

デルタ株が蔓延する中で「自分を愛する」とは、どういうことでしょうか。もちろん新しい生活様式を維持することも大切ですが、不摂生な生活を避け、自己免疫力を高める努力をすることも大切です。第1にバランスの良い食事、第2に十分な睡眠、第3に適度な運動、そして第4に祈りによって心の平安を保つということです。コロナ禍では、そのことを貫くことが感染防止につながり、なによりも「隣人を自分のように愛する」実践につながるのです。



❖ 聖書・キリスト教クイズ ❖

以下の有名人のうち 1 人は、1 年余りでしたがキリスト教の伝道師として働いていたことがあります。それは誰でしょうか。

野口英世

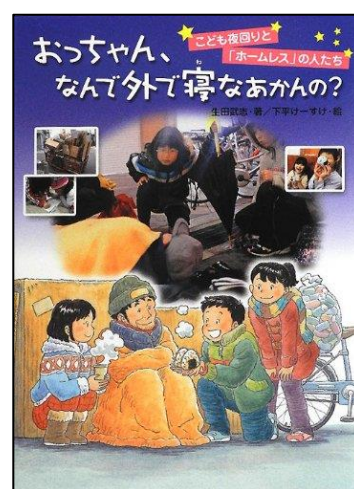
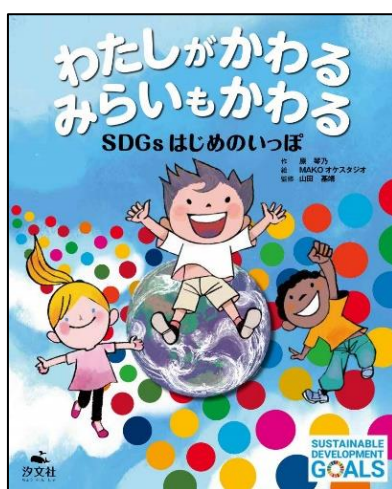
宮沢賢治

ゴッホ

滝廉太郎

❖ 秋の絵本展示：「共に生きるために」

礼拝堂入口ホールでは 9 月 27 日（月）から、絵本の展示「共に生きるために～社会について考える絵本！」を開催します。環境危機、SDGs、差別、児童労働など、世界のさまざまな問題について考えさせてくれる絵本・児童書が並びます。『もったいないばあさん』の最新作のほか、ミッフィーの本、ノーベル平和賞受賞者デズモンド・ツツの作品なども登場する予定。ホームレス生活の実態を描いた生田武志の『おっちゃん、なんで外で寝なあかんの？』は、ホームレスをめぐる問題発言が話題になっている今だからこそぜひ読みたい作品です。展示は 11 月 30 日（火）まで。12 月にはクリスマス为主题にした展示を行います。



クイズの答え

ゴッホ : ベルギーの炭鉱町で 1 年ほど伝道師として働き、そのあと本格的に画家に転身。
野口英世、滝廉太郎はキリスト教の洗礼を受けている。宮沢賢治は法華宗の仏教徒。

【お問い合わせ】

宮城学院キリスト教センター TEL : 022-279-9558 Email : christ-c@mgu.ac.jp